

2009 大会プレイバック

<マスターズ甲子園2009・第6回大会>

2007～2009 シリーズ第3幕

第6回大会では、各地方予選大会を勝ち抜き、代表OB試合への出場が決定した8チームから346名、甲子園キャッチボール参加者778名を合わせ、総勢1124名が甲子園球場に集結し、約630名のスタッフ・ボランティアが大会運営を支えました。開会式に、星野仙一大会名誉会長、重松清大会応援団長が出席し、大会名誉会長が開会挨拶を述べられました。その後、今回からマスターズ甲子園の地方予選大会を初開催した沖縄県選抜チームの北谷高校野球部出身の兄弟選手が選手宣誓を行いました。

甲子園修築工事の期間中、6月中の1日開催となった2007～2009シリーズは、甲子園本大会への代表OB校を選出するための地方予選大会を3つの地区に分割し、その最終年度となる2009年大会を目指した東海・四国・九州地区の予選大会に計168の高校野球部同窓会チームが参加、各地で熱戦を繰り広げました。

甲子園本大会の代表OB試合には、各地区予選から選出された明野(三重代表)、徳島商業(徳島代表)、今治西(愛媛代表)、久留米商業(福岡代表)、熊本商業(熊本代表)、宮崎商業(宮崎代表)、加治木(鹿児島代表)、沖縄選抜(沖縄代表)の8チームが出場。最年少は18歳から最高齢が72歳まで、計346名の元高校球児が甲子園でのプレーを実現し、そのうち甲子園初出場者は264名でした。

甲子園キャッチボールには、43都道府県より計389ペアが参加。元高校野球関係者(部員、監督、コーチ、マネージャー)であれば、チームメイト同士や他校の元選手、兄弟等で参加できる「球友編」に66ペア、片方が元高校野球関係者であれば親子で出場できる「親子編」に最年少2歳から最高齢79歳までの278ペアが参加しました。また、片方が元高校野球関係者であれば夫婦でキャッチボールできる「夫婦編」を今回から募集開始し、計45カップルが参加しました。

夏の高校野球選手権大会の初代学生司会者である山内佑利子氏が式典司会を担当しました。また、夏の高校野球選手権大会の開会式入場行進でブラスバンド係をかつて務めた市立西宮高校OGが、高校時代にブラスバンドを持てなかった同校のOGを誘い、開会式入場行進でのブラスバンド先導役を実現。その他、かつて甲子園に憧れた審判員、ボランティア・スタッフもそれぞれの想いで甲子園デビューを実現することができました。

野球を、裏切らなかった。
野球は、裏切らなかった。



MASTER'S
マスターズ甲子園2009

MASTERS BASEBALL IN KOSHUEN 2009 TOYKO

100 KOSHUEN STADIUM | 1000 KOSHUEN STADIUM | 1000 KOSHUEN STADIUM | 1000 KOSHUEN STADIUM | 1000 KOSHUEN STADIUM